

東北広域次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北広域次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

(セミナー名称) 第7回 AYA カフェ-AYA 世代のためのがん患者カフェ
1. 担当分野 東北大学医学系研究科がん看護学分野・緩和ケア看護学分野
2. 実施年月日 令和6年11月17日
3. 開催場所・開催方法 メディアテーク仙台、対面開催
4. 関連分野・領域 がん看護、AYA 世代
5. 対象者 15歳以上40歳未満にある時期にがんを経験した方 10名程度
6. 参加者について 参加者合計人数：5名 以下の内訳について教えてください 学内参加者数：1名 学外参加者数：4名 東北大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学、岩手医科大学での参加大学数：1校 上記がんプロ連携大学、協力大学以外の参加大学数：0校 なお、他の内訳もございましたら、以下にご記載ください（医師、薬剤師、看護師、など）
7. 成果 5名申し込みがあり、当日の体調不良や急用によって3名がキャンセルした。2名が申し込みによる参加、1名はピアサポーターとしての参加であり、がんサバイバーは3名参加し、スタッフ2名で対応した。 当日はクリスマスクラフトを作成しながら、参加者が話してみたいことに沿って会話をを行った。話してみたいこととしては、「気持ちがいんどかった時の乗り越え方」「家族との関わりかた」「仕事の人にとこまではなしているか」「食事は気をつけているか」などであった。 参加者からは、心が和むクラフトを作成しながらお話しできたことで、心が癒された。非日常の空間で、はじめて自分の思いを話すことができ、心が軽くなった。などの感

想が聞かれた。

また、はじめて学外施設を借用しての開催であったが、アクセスがしやすい環境だった、プライバシーが保てる空間であったとの評価があった。要望として、がん種や性別ごとに分けた開催だと参加しやすいといった意見があり、検討していく。

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】

